

平成29年度 第1回  
京都府独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会  
近畿職業能力開発大学校京都校部会 開催概要

1. 開催日時

平成29年6月19日（月） 10:30~12:00

2. 開催場所

京都職業能力開発短期大学校2号館2階会議室 舞鶴市上安1922番地

3. 主な議題

- (1) 平成28年度の業務実施状況について
- (2) 平成29年度の業務計画及び業務進捗状況について

4. 議事経過

資料に沿って、事務局から説明が行われた後、意見交換が行われました。各委員からの主な意見は以下のとおりです。

- 離職者訓練・在職者訓練では多くの人材を輩出しており、我々の業界は京都短大の存在意義を高く評価しているが、高校にその評価が伝わっていないのが非常に残念である。
- 対象とした人数の中で、どれだけ確保出来るかを考えなければならない。生徒の心を掴むにはどうするか、企業側からすると、例えば商品を買って頂くのはお客様の選択肢にかかっている。それと同様、高校生から進路指導等の相談を受けた時に京都短大という選択肢を出せるよう、特徴、良さをどれだけ多く噛み砕いて伝えられるかが課題である。
- 学生が将来、勤める企業での自分の価値、ポジションがどうなるのか、他人の事例ではなく、学生自身の明確な将来が見えなければ京都短大を選ばない。企業と京都短大との繋がりが物語として続くようにしなければいけない。
- 先生方のレベルも非常に高く、他校に引けを取らない。その点も一緒にPRをすれば差別化出来るのではないかと思う。
- 昨年度、オープンキャンパスの来校者が前年度の約3倍であったが、結果的に応募に結びついていない。オープンキャンパスの内容に課題があるのでないか。
- 学生確保については、この学校を卒業したらどんな仕事に就けるのか？そこが重要であり、この辺りをもっとPRしていけば良いと思う。
- 就職については、企業の現場では班長クラスの人材が求められており、まさに京都短大の卒業生が求められている。
- 就職された方が、企業でどんな生き方や活躍をしているのか、次に受験する人の参考になる。高校生に将来を見据えて、自分がどんな仕事をするかイメージを持たせるのはなかなか難しいが、ものづくりに興味がある高校生にとっては動機付けになると思う。



近畿職業能力開発大学校京都校部会委員名簿

(敬称略)

氏名	所属及び役職名
高橋 裕行	京都府立福知山高等技術専門校 校長
後藤 義邦 (欠席)	日本労働組合総連合会京都府連合会北部地域協議会 議長
岡 安 昇 (後藤委員代理)	日本労働組合総連合会京都府連合会北部地域協議会 事務局長
瀬川 甫	舞鶴商工会議所 専務理事
黒石 悟	京都府中小企業団体中央会 北部事務所 所長
寺田 昭夫	丹後機械工業協同組合 常務理事
足立 由紀夫	一般社団法人綾部工業研修所 代表理事 日東精工株式会社 常務取締役
田中 政旭	舞鶴工業集積協議会 会長
小瀬 康行	京都府商工労働観光部人づくり推進課 課長
山田 剛	舞鶴公共職業安定所 所長
砂原 由明 《座長》	舞鶴市産業振興部 部長